



~ 夢ひとつじに ~

宮原中だより

学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

令和7年度 第7号
令和7年10月30日(木)発行
さいたま市立宮原中学校
ホームページアドレス
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp>
メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp



『我が家のスマートフォン・ルールを考えよう』



校長 田中和浩

「母親を 霜よけにして 寝た子かな」
「初霜に 負けて倒れし 菊の花」

小林一茶
正岡子規

中学生の身近にある「スマートフォンに関するトラブル」に、とても危機感を感じています。それで、私なりに現状をまとめてみました。

【SNSでのいじめ・誹謗中傷】

- ・グループ上で、特定の人の悪口言ったりや誹謗中傷したりする。
- ・一定の関係があるにも関わらず、特定の人をグループに参加させない。

【性的な画像等に関するトラブル】

- ・性的な画像を送ってしまう。
- ・フェイク画像を加工して拡散する。
- ・性的な画像を送るよう要求する。

【個人情報の漏洩】

- ・断りなく他人の写真を撮影する。
- ・他人の写真を許可なく別の人へ送る。

【ゲーム依存】

- ・ゲーム依存による昼夜逆転
- ・過度な課金
- ・課金を要因とした金銭トラブル

スマートフォンは、私たちの日常生活を豊かにしてくれるツールの一つとなりました。けれども、インターネットやSNSツールの利用については、利用者のモラルに任せられているのが現状です。多様化するスマートフォンの利用方法に、一定の制約を設けることは、もはや難しい状況になっているとも感じます。

けれども大人は、「このことから、どう子どもを守ってくか」を、考えなければならないと強く思います。大人が、子どもとともに、できる自衛策は、子どもの年齢や分別に応じて相談しながら「使い方のルールをきめること」「利用状況を確認できるようにすること」ではないかと思うのです。ルールを作る場合は、なぜそのルールが必要なのかと一緒に考え、話し合うことが大切です。

「スマートフォンを自由に使うこと」に対する責任を、いまの中学生が負うことができるでしょうか。意図せず加害者にも、被害者にもなる可能性と隣り合わせの現状では、難しいことだと考えます。子どもたちには「決められたルールの範囲で利用すること」を通して、徐々に利用者のモラルを身につけ、責任のとれる大人に成長してもらいたいと思います。

そのためにも、中学生のみなさんには、「きまりやルール」で「子どもを守りたい」と思う大人の気持ちもわかつてもらえるよう、学校でも指導していきたいと考えます。

★★★我が家のスマートホン・ルールを考えよう★★★

以下は、ある学習塾で家庭に調査した結果の抜粋です。必要なルールを相談してみてください。

- 管 理 : ①中学生向けのフィルタリング設定 ②パスワードの共有 ③親が確認のため見る
- 時 間 : ①〇〇時以降使用しない ②使用時間は、〇時間
- 場 所 : ①自分の部屋に持ち込まない ②リビングで使用する
- ア プ リ : ①ゲームは1つのみ ②SNSのアカウントを持たない ③SNS (LINEやX等) でつながる場合、親の同意を得る
- 連 絡 : 親からの電話連絡は必ず出る (または、折り返す)

※ルールを守れなかったときには、どうするかも決めておくとよいそうです。